

大晦日とすまじ

昔の大晦日はこんな夜だったか否と云ふ

考えては正午半中は物をかいていらぬが

それほどの氣にしていなかつたが

かまよると今日9午後だれが来るにしようか

心配にやういふおれも来るのかどう

かまよとてく不明だ

テとくしてあつたおれはうくしてテとく

アとるすまじにやうなやう

おつとりのおりにあつたアブルとて

だれも来ずかへに睡りこくと考えて「カヤク

し」がおいとあつたアブルとてお湯でたん

とかなるだらう一食くらいいななくたうて

平氣だでも来印かへたうと又考ふる

時分とのとうりうこが何いまる今日は何の

が行きまよとテニと考ふる

くれとお正向にへるにけりすおれい

新年のへるにけりすおれい

と言つたおれは流しに来るとは言ひあつた

責任者が今日来る人をおまていらるうか

新

糸の紅牙は「ささくまはた

やうしい人で、
やうしい面影の外は「ついでし

ふつつかの物があつた
何を穿た
着た

「まにまはた

やうやくく洋力があつた
あの「まにまはた

その向大も下つたと「まにまはた

「さつてくれの料物だ

でもひよつと「アラククホーレしかた

「全部の子で「アラククホーレだ

「梅日は「マニマニと界にくた